

桑都日本遺産センター 八王子博物館(愛称「はちはく」)の機能移転について

1 報告趣旨

開館から4周年を迎えた桑都日本遺産センター 八王子博物館(以下「はちはく」という。)の機能を、「桑都の杜」内に開館予定の歴史・郷土ミュージアム(仮称)へ移転することについて報告する。

2 報告内容

(1) 開館の経緯

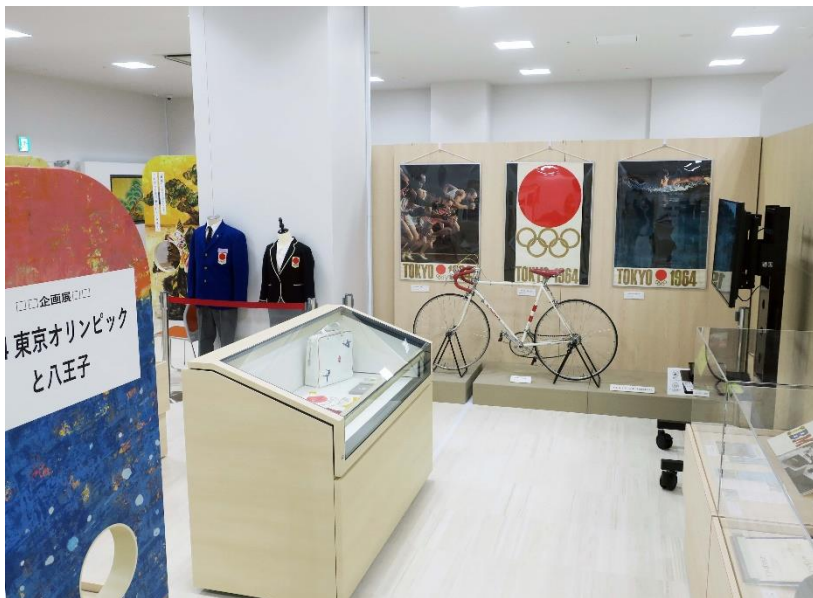
令和2年(2020年)6月「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が日本遺産に認定されたことに伴い、日本遺産の魅力周知、文化観光の促進及び八王子駅南口集いの拠点のPRを目的として、令和3年(2021年)6月に開館。

(2) 取組実績

かつて養蚕や織物で栄え、「桑都」という美称を持つ八王子の日本遺産ストーリーを踏まえた展示や日本遺産の構成文化財、歴史文化を紹介する企画展示を積極的に行い、開館から4年間に累計約19万人が来館している。また小・中学生の社会科見学時の訪問先としても積極的に活用されており、これまでに延べ150校以上、7,000人以上の児童・生徒を受け入れている。

(3) 歴史・郷土ミュージアムへの移転に向けた準備

歴史資料等の整理や運搬、新施設の展示や運営準備のため、令和8年(2026年)3月31日にはちはくを閉館する。閉館については広報、HP、X(旧ツイッター)等で今後周知を行う。はちはくの閉館中は、博物館資料を鑑賞出来るデジタルアーカイブの公開、学校向けの資料の貸出、出前授業等の継続実施を行い、博物館機能の維持を図っていく。なお、令和8年(2026年)10月に歴史・郷土ミュージアムを開館する。



令和3年度（2021年度）企画展「1964 東京オリンピックと八王子」



令和6年度（2024年度）企画展
「窯がつくる暮らし」
南多摩窯跡群 G1 号窯 出土状況再現展示



令和7年度（2025年度）企画展「むかしむかしごはん」イベント



令和7年度（2025年度）企画展「むかしむかしごはん」
展示「平常時の北条氏照の食卓」イメージ再現